



< 第52号 >

東杏印刷は医療現場を支える皆様・患者様にとっての快適な医療空間づくりをお手伝いします

発行所 TOKYO PRINTING CO.,LTD. 東杏印刷株式会社 〒178-0063 東京都練馬区東大泉2-11-4 TEL 03-3923-1101(代) FAX 03-3923-1109

あんずだより編集部 http://www.tokyop.co.jp

スマートフォン専用



あんずだよりのバックナンバーがご覧いただけます

Facebookで検索

あんずだより 検索

Facebook QRコード



# 集ラム 見本があるから もう間違えない!



## クロス株式会社「おくすりまとめ〜る」紹介

「朝食後」「昼食後」「夕食後」「ねる前」――お薬の服用タイミングが書かれた4種類のビニール袋。一見すれば単なる透明の袋のようですが、これが、医療・介護現場のお薬の課題を解決する新しいシステムを実現する期待のアイテムなのです。今回は、保険調剤薬局事業に基づく商品の開発・販売を行うクロス株式会社より、画期的な配薬アイデアをお伺いいたします。

### 「お薬の飲み忘れ・飲み間違い」を防ぐための新発想

おくすりまとめ〜る

ホチキスで留められない容器入りの液剤等の使用忘れ問題に対する解決策も併せて求められまいた。 これらを踏まえ、介護施設に配達された後のお薬の管理方法・配薬方法から利用者様の口に入るまでの一連の課題に対する解決方法を徹底的に考えぬいて生まれたのが、お薬仕分管理専用袋「おくすりまとめ〜る」なのです。 一見シンプルな仕様ではあり

設側では、大量のお薬を仕分けるための労力と時間が大きな負担となっていました。 そこで、弊社では用法毎に正しくお薬を服用していただくためのあらゆる方法を検討し、市販のポケット付きお薬カレンダールの利用、チャック付きポリ袋への収納、お薬を直接ホチキスで留めるなど、いろいろな方法を試しました。しかしながら、お薬カレンダールのポケットは小さ過ぎて薬剤の収納量が少なく出し入れもしにくい、チャック付きポリ袋はチャックの開閉作業の効率が悪い上に直ぐに破けてしまう、ホチキス留めは金属芯の誤飲と取り外し時の危険性があるなど、どの方法も問題を含んでおり、やはり市販の物の活用では、在宅業務で使用するには限界があることを痛感しました。さらに、内服薬と同時に使用する小型の外用貼付薬や、



様々なサイズのお薬に対応した大きさ 収納したお薬がこぼれ落ちないフタ付き形状 袋の中のお薬が見やすい透明タイプ ひと目でわかる色使いと用法表示 繰り返し使える耐久素材 作業効率を高めるための使い心地

完成後、2年間のテスト運用で大きな反響をいただき、確信を得て販売を開始。「おくすりまとめ〜る」が在宅業務における弊社の信頼性向上に大きく貢献してくれています。 さて、在宅業務とは別に、「店舗にお越しいただいた外来患者様にも、「おくすりまとめ〜る」で処方せん全てのお薬を仕分けしてお渡ししましょう」と申し上げたいところでありますが、時間や手間が相当にかり、実現するのは至難の業、というのが現実かと存じます。とはいえ、「誤飲や残薬などの問題を少しでも

### 【お問い合わせください】

## 見本があるから もう間違えない!

おくすりまとめ〜るで 1日分をお渡しします。

### 整理収納の主な利点(私の独断)

- ☆お金と時間の無駄がなくなる(物を探す時間・二重買い...)
- ☆イライラしなくなる
- ☆いつでも人を呼べる
- ☆鮮度が保てる(薬・化粧品も含めて)
- ☆気分がよくなり、インテリアにこだわるようになる。
- ☆動線が確保できる

解消したい」というのは、患者様ファーストを掲げる薬局様であれば皆様お考えのことでしょう。 そこで弊社が提案したいのが、「1日分のおくすり現物見本」です。 処方するお薬のうち、1日分のお薬を服用タイミング別に仕分けして「おくすりまとめ〜る」にお入れします。お渡しの際には、薬情と併せてこちらの「おくすり現物見本」をご提示しながら用法用量をお伝えください。 たったそれだけのことで、患者様が「自宅に帰って1日分の服用内容を確認する際」「現物見本」があれば一目瞭然。複数のお薬情報と並んだ薬情を追いつながら服用するよりも、視覚的にはとっかかりやすいので、お薬の飲み忘れ・飲み間違いもぐんと減るでしょう。 弊社では、この「おくすり現物見本」が、近年の残薬問題解決への確かな可能性を持っていると考え、システムの浸透に努めております。 また、介護施設や薬局様向けの仕分け用アイテムとして生まれた「おくすりまとめ〜る」ですが、個人でのご利用も増えてきております。個人の方がご

「整理収納」という言葉が流行っていますよね。私もそんな整理収納特集の本が大好きです。しかし「よく苦手分野でもあり、掃除は好きだけれど、整理整頓が苦手なタイプです。しかし苦手だからこそ極めたくて実は整理収納アドバイザー2級認定講座を座学で一日受講してきました。 とにかく物と向き合う事の大切さを理論的に教わりました。もっと早く知りたかったことだらけで、教育の一部にぜひ取り入れてほしいと思うような内容でした。 また新しい発見がありましたらご紹介させていただきます。

弊社の会社名は、英語で「CROSS」と表記します。末尾の「SS」は「Sensitive ability」「Speeding up」「Specialist」の略であると同時に、3本の柔軟性を持つカーブ状の柱が信頼の強さを表現しています。選ばれ、信頼される医療機関には、患者様に寄り添う柔軟な発想と行動力が必要。これからは、現場目線でサービス向上に努めながら、医療の抱える様々な課題解決の一助となりたいと考えております。

「整理収納」と一言にいつても整理とは物と向き合い、必要な物、不必要な物を自分で決める事。(物を大切にすることとは使つてあげるという事。整理とは使つてあげるものを整える。収納とは今使つていないものを使いやすい状態にする事。それだけでも今までの私の概念とは全く異なるカルチャーショックをうけました! その中でも特に「整理」。そしてなぜ「整理」が苦手と思ってしまうか、それは目標が見えづらいから続かないのだそうです。

## きこえるようにひとりごと

2017年初! 頑張ります!

「整理整頓収納」いかがですか? 第二営業部 営業課 新藤 沙紀

